

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年1月7日

計画の名称	11 住みやすく魅力あるまちづくりと地域資源を生かした観光交流活性化のための街路整備																																	
計画の期間	平成21年度～平成25年度（5年間）			交付団体	三重県、桑名市、四日市市、鈴鹿市、津市、伊賀市、伊勢市、熊野市																													
計画の目標	円滑な交通と快適で良好な走行空間を確保するとともに、都市内の景観や環境を形成することで、住みやすく魅力あるまちづくりと地域資源を生かした観光交流の活性化を目指す。																																	
計画の成果目標（アウトカム指標）																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・踏切除去等の街路整備により市街地内における移動時間の短縮を図る。 ・市街地における無電柱化の整備割合を10%（H21年度当初）から55%（H25年度末）へ拡大 ・県内の観光レクリエーション入込客数を3,355万人（H21年度当初）から3,470万人（H25年度末）へ増加を図る。 																																		
アウトカム指標の定義及び算定式																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">アウトカム指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交付対象事業における街路整備により短縮された移動時間を算出する。 移動短縮時間＝整備対象路線延長/20km－Σ〔（未整備延長）/20km+（街路整備済延長）/40km〕</td> <td>0分 （H21年度当初）</td> <td>4分 （H23年度末）</td> <td>5分 （H25年度末）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率＝無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長</td> <td>10% （H21年度当初）</td> <td>40% （H23年度末）</td> <td>55% （H25年度末）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数を集計する。</td> <td>3,355万人 （H21年度当初）</td> <td>3,420万人 （H23年度末）</td> <td>3,470万人 （H25年度末）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>													アウトカム指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	交付対象事業における街路整備により短縮された移動時間を算出する。 移動短縮時間＝整備対象路線延長/20km－Σ〔（未整備延長）/20km+（街路整備済延長）/40km〕	0分 （H21年度当初）	4分 （H23年度末）	5分 （H25年度末）		交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率＝無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長	10% （H21年度当初）	40% （H23年度末）	55% （H25年度末）		1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数を集計する。	3,355万人 （H21年度当初）	3,420万人 （H23年度末）	3,470万人 （H25年度末）	
	アウトカム指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																															
交付対象事業における街路整備により短縮された移動時間を算出する。 移動短縮時間＝整備対象路線延長/20km－Σ〔（未整備延長）/20km+（街路整備済延長）/40km〕	0分 （H21年度当初）	4分 （H23年度末）	5分 （H25年度末）																															
交付対象事業の内、無電柱化を図る事業を対象とし、無電柱化全体延長に占める電線共同溝敷設延長割合を算出する。 無電柱化率＝無電柱化整備済延長/無電柱化整備延長	10% （H21年度当初）	40% （H23年度末）	55% （H25年度末）																															
1年間に観光レクリエーション等の目的で県内の観光地を訪れた人数を集計する。	3,355万人 （H21年度当初）	3,420万人 （H23年度末）	3,470万人 （H25年度末）																															
全体事業費	合計 （A+B+C）	6,296 百万円	A	6,091 百万円	B	0 百万円	C	205 百万円	効果促進事業費の割合 C / （A+B+C）		3.3%																							

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
三重県において各交付団体から目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い事後評価を実施	交付期間終了後 公表の方法 ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																		
A 地方道路整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接/間接	事業主体	道路種別	省略工種	率（基本）	要素事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
												H21	H22	H23	H24	H25		
11-A2	街路	一般	桑名市	直接		区画	改築	0.55	桑名駅西地区（都）蛸塚益生線外4線	改築 無電柱化 A=26.6ha	桑名市						231	
11-A3	街路	一般	三重県	直接		S街路	改築	0.55	（都）桑名中央東員線	無電柱化 L=0.3km	桑名市						96	
11-A5	街路	一般	四日市市	直接		S街路	改築	0.55	（都）環状1号線	改築 L=0.5km	四日市市						314	
11-A9	街路	一般	鈴鹿市	直接		S街路	改築	0.55	白子駅地区（都）白子柳線外1線	改築 無電柱化 L=0.2km	鈴鹿市						2,177	
11-A10	街路	一般	三重県	間接		区画	改築	0.55	白江地区（都）旭が丘白子線外4線	改築 A=25.7ha	鈴鹿市						646	
11-A16	街路	一般	三重県	直接		S街路	改築	0.55	（都）相川小戸木橋線	改築 無電柱化 L=0.5km	津市						50	
11-A17	街路	一般	津市	直接		S街路	改築	0.55	（都）上浜元町線	改築 L=0.5km	津市						473	
11-A24	街路	一般	津市	直接		区画	改築	0.55	津駅前北部地区（都）津駅栄町線外3線	改築 無電柱化 A=11.6ha	津市						1,178	
11-A27	街路	一般	三重県	直接		S街路	改築	0.55	（都）秋葉山高向線外1線	改築 L=0.8km	伊勢市						10	
11-A28	街路	一般	三重県	直接		S街路	改築	0.55	（都）外宮度会橋線	無電柱化 L=0.8km	伊勢市						78	
11-A31	街路	一般	伊賀市	直接		再開発	改築	0.55	上野市駅前地区（都）上野丸ノ内駅前広場線	改築 無電柱化 A=1.1ha	伊賀市						682	
11-A32	街路	一般	三重県	直接		再開発	改築	0.55	上野市駅前地区（都）伊賀上野橋新都市線	改築 無電柱化 A=1.1ha	伊賀市						136	
11-A37	街路	一般	三重県	間接		区画	改築	0.50	白江地区（都）旭が丘江島線	改築 A=25.7ha	鈴鹿市						20	
												合計	6,091					

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年1月7日

B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
											合計	0					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付団体	直接間接	事業主体	省略工種	率(基本)	要素事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24	H25		
11-C2	施設整備	一般	鈴鹿市	直接		自転車駐車場	0.55	白子駅西自転車駐車場整備	自転車駐車場整備A=0.03ha	鈴鹿市					8		
11-C3	施設整備	一般	鈴鹿市	直接		駅前広場整備	0.55	白子駅前広場整備事業	歩道、サイン整備等	鈴鹿市					39		
11-C5	施設整備	一般	伊勢市	直接		その他	0.55	二見浦交通広場駐車施設整備	駐車場整備A=1.07ha	伊勢市					82		
11-C6	施設整備	一般	伊勢市	直接		観光案内情報提供	0.55	伊勢市観光案内・誘導サイン整備	サイン設置 13箇所	伊勢市					31		
11-C8	計画・調査	一般	熊野市	直接		調査・計画	0.55	(都)西川町獅子岩線	無電柱化計画策定	熊野市					5		
11-C9	施設整備	一般	熊野市	直接		景観整備	0.55	(都)西川町獅子岩線	照明設置・石張舗装等	熊野市					40		
											合計	205					
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
11-C2	白子駅前広場整備事業(A9)により交通結節点の機能が向上することから、さらなる自転車利用者のアクセス機能向上を図るため自転車駐車場整備を行う。																
11-C3	白子駅前広場整備事業(A9)と合わせて、駅前東口の歩道・トイレの改修を行いバリアフリー化を図る。又、駅前広場に案内看板等のサインを設置することによって、利用客に優しく白子駅全体の利便性の向上を図る。																
11-C5	秋葉山高向線外1線、新国道及び豊川浦田線交通広場の街路整備により観光地への円滑化が図れるとともに、入込客数の増加が見込まれることから、不足している駐車場の整備を行い駐車スペースを確保することで魅力あるまちづくりとレクリエーション交流の促進を図る。																
11-C6	秋葉山高向線外1線、新国道及び豊川浦田線交通広場の街路整備により観光地への円滑化が図れるとともに、入込客数の増加が見込まれることから、不足している誘導サインの整備を行い、目的地に円滑に誘導することで、観光客に優しく魅力あるまちづくりとレクリエーション交流の促進を図る。																
11-C8	無電柱化事業を効果的・効率的に推進するため、西川町獅子岩線(A34)に関する予備設計や住民説明用の資料作成を実施する。																
11-C9	西川町獅子岩線(A34)無電柱化事業と合わせて照明施設等を整備することで、熊野古道と調和したイメージに景観の統一を図り、観光客を誘客し周遊させて賑わいや経済効果を創出する。																

その他関連する事業													
計画等の名称 4 街路整備による安全なまちづくり													
事業種別		交付対象		要素となる事業名(事業箇所)		市町村名						全体事業費(百万円)	備考
4-A'1	街路	鈴鹿市		(都) 汲川原橋徳田線		鈴鹿市						1,842	防災・安全移行先
4-A'2	街路	伊勢市		(都) 八日市場高向線		伊勢市						425	防災・安全移行先
4-A'3	街路	三重県		(都) 松阪公園大口線外1線		松阪市						1,700	防災・安全移行先
4-A'4	街路	熊野市		(都) 西川町獅子岩線		熊野市						253	防災・安全移行先
4-A'5	街路	三重県		(都) 伊賀上野橋新都市線		伊賀市						600	防災・安全移行先
計画等の名称	18 鉄道高架化による安全で一体的な街づくり												
18-A'1	街路	三重県		近鉄名古屋線川原町駅付近		四日市市						2,100	
計画等の名称	伊賀市中心市街地のにぎわいの再生												
1-B'2	街路	伊賀市		上野市駅前地区(都)上野丸ノ内駅前広場線		伊賀市						335	
1-B'3	街路	三重県		上野市駅前地区(都)伊賀上野橋新都市線		伊賀市						100	

A'	7,355	百万円	B'	0	百万円	C'	0	百万円	(C+C')/((A+A')+(B+B')+(C+C'))	1.5%	%
----	-------	-----	----	---	-----	----	---	-----	-------------------------------	------	---

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年1月7日

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・白子駅前広場や相川小戸木橋線等を整備した結果、交通の流れがスムーズになり、朝夕の通勤時間帯における渋滞が減少した。 ・桑名中央東員線や外宮度会橋線等で無電柱化事業を進めたことにより、市街地の景観が良くなるとともに、地域住民や観光客など歩行者の安全性が向上した。 ・伊賀市の上野市駅前市街地再開発や伊勢市の秋葉山高向線の整備により、中心市街地へのアクセス機能が向上した。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（移動短縮時間）	最終目標値	5分	目標値と実績値に差が出た要因	区画整理事業において、当初の目標よりも整備を進めることができたため。
		最終実績値	6分		
	指標②（無電柱化の整備率）	最終目標値	55%	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	55%		
	指標③（観光レクリエーション入込客数の増加人数）	最終目標値	3,470万人	目標値と実績値に差が出た要因	神宮式年遷宮に向けて、市町単独事業においても観光案内板やサインを設置するなど観光客の誘致に積極的に取り組んだため。
		最終実績値	4,079万人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後の方針として、未着手区間については早期に事業着手できるよう検討・調整を進め、事業継続中の箇所は早期供用できるよう事業進捗を図る。</p>					